

【資料2】

# 報告書の構成について

人工知能と人間社会に関する懇談会 事務局

# 報告書の全体像

## Executive Summary

第1章 はじめに

第2章 人工知能と人間社会に関する動向

第3章 検討の進め方

第4章 論点の整理

第5章 おわりに

付録

# Executive Summary

- 論点整理のポイントを中心に、報告書を要約。

# 第1章 はじめに

1. 懇談会設置の背景と目的を記述。
2. 以下の点を中心に基本的な考え方を記述。
  - 人工知能だけでなく、デジタルイゼーションも含めて検討。
  - 現存する、又は近い将来実現する可能性が高い技術やそうした技術が普及した社会に焦点を当てる。
  - 事例に基づいて具体的に検討。

## 第2章 人工知能と人間社会に関する動向

- 人工知能と人間社会に関する国内外の動向を紹介し、本懇談会の位置づけを述べる。
  - a. 国内の動向
    - 人工知能学会倫理委員会
    - 総務省「AIネットワーク化検討委員会」他
  - b. 国外の動向
    - Future of Life Institute
    - AI100 他
  - c. 政策動向
    - OECD 他



## 第4章 論点の整理

- 複数の事例に共通する論点を倫理、法、経済等の項目ごとに簡潔に述べる。  
(検討内容の詳細は付録とする。)

## 第5章 おわりに

- 持続可能な人間社会の形成に向けて、懇談会の成果の発信や国際連携等の今後の取り組みについて記載。



# 付録

## 1. 検討の詳細

- 事例別の深掘りを含め、検討の詳細を述べる。

## 2. 社会との対話

- Webシステムを使ったアンケートや日本科学未来館でのワークショップなどについて述べる。

## 3. 政府の動向

- 第5期科学技術基本計画や自民党 人工知能未来社会経済戦略本部の緊急メッセージ等の政府の動向を述べる。

## 4. 構成員

- 構成員と関係省庁について述べる。